

公益財団法人日本骨髄バンク 第28回通常理事会 議事録

1 日 時 2026年(令和8年)3月13日(金) 17時10分から17時30分

2 開催方法 WEB会議(本会議をWEB開催することに関して全理事の同意を得た)

3 定 足 数 理事現在数11名中、出席9名

(1)出席理事：9名(以下、敬称略)

岡本 真一郎(理事長)、佐藤 敏信(副理事長)、日野 雅之(副理事長)、
浅野 史郎(業務執行理事)、大西 達人、鈴木 利治、高橋 聡、橋本 明子、
福田 隆浩

注)定款第46条に規定する理事現在数の過半数を充足し、本理事会は成立した。

(2)欠席理事：2名

石丸 文彦、瀬戸 愛花

(3)出席監事：1名

岩崎 裕彦

(4)欠席監事：1名

沓沢 一晃

(5)陪 席 者：4名

細川 亜希子(厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室室長補
佐)

高波 直樹(厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室係長)

栗和田 統眞(厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室)

古館 賢一(日本赤十字社血液事業本部技術部造血幹細胞事業管理課参事)

(6)事 務 局：5名

小川 みどり(事務局長兼ドナーコーディネート部長兼医療情報部長)

田中 正太郎(総務部長)、関 由夏(移植調整部長)、水口 詞代(広報渉外部長)、

荒井 茂(総務部TL)

4 開 会

岡本理事長が通常理事会の開会を宣言した。理事会運営規則第3条に基づき、事務局の出席が認められた。

5 議事録署名人の選出

定款第51条第2項により出席した理事長及び監事が議事録の署名にあたりとされた。

[議 事]

6 審議事項

第1号議案：令和8年度事業計画及び予算について

第2号議案：特定費用準備資金等取扱規程の改正について

7 報告事項

- (1) 寄付金報告
- (2) 採取件数・患者登録数報告
- (3) 調整医師新規申請・承認の報告
- (4) 患者負担金説明書の改訂
- (5) スワブトライアル3進捗

8 審議事項の経過概要と結果(敬称略)

(1) 第1号議案：令和8年度事業計画及び予算について … 小川事務局長・田中総務部長

2月の業務執行会議において提示した事業計画原案からの変更点として、2025年度の国内採取件数の実績見通しを、1,050件から1,040件に引き下げた。2月の件数が想定を下回ったため。

予算については、原案時点から変更はない。赤字予算ではあるが、減価償却費が大きくなっており、実際の資金繰りには問題はない。付属資料を含め、審議をお願いしたい。

審議の結果、第1号議案は全会一致で可決承認された。

(2) 第2号議案：特定費用準備資金等取扱規程の改正について … 田中総務部長

今回の公益法人制度の改正により、従来の特定費用準備資金や資産取得資金の制度が整理され、新しく公益充実資金という枠組みに再編された。

これは、公益法人が将来の公益事業の実施や拡充に備えて計画的に資金を積み立て、従来よりも柔軟に活用できるようにすることを目的としたものとなっている。

これに対応するため、当法人においても、現行の特定費用準備資金等取扱規程を見直し、規程名称を公益充実資金等取扱規程に変更するとともに、制度の内容に合わせて条文の整理を行ったもの。

また今回の改正は、制度改正の対応というのが主であり、当法人の資金管理の基本的な考え方や運用について変更するものではない。また現在積み立てている資金についても、公益充実資金の枠組みの中で整理されることにはなるが、実務上の管理や目的が直ちに変わるものというのではなく、引き続き計画に基づいて管理していくことになる。

審議の結果、第2号議案は全会一致で可決承認された。

9 業務執行状況報告

岡本理事長から業務執行状況報告があった。第27回通常理事会以降、本日までに臨時理事会を2回、業務執行会議を計5回開催し、各種議題を協議したことが報告された。続いて佐藤副理事長、日野副理事長、浅野業務執行理事が業務執行状況をそれぞれ口頭報告した。

10 報告事項の経過概要と結果(敬称略)

(1) 寄付金報告 … 田中総務部長

2月度については、950件、約510万円の多額の寄附をいただいた。現時点で、目標の1億5千万円を超える状況となった。

(2) 採取件数・患者登録数報告 … 田中総務部長

2月は、国内BM41件、PB39件、国際0件で、合計80件。昨年度と比較し、10～15件程度の増加見込み。

国内患者登録者数は、2月が132人、累計1,749人となっており、昨年度より少し多めに推移。

(3) 調整医師新規申請・承認の報告 … 関移植調整部長

新規登録の調整医師が2名、異動・辞退6名、合計で1,255名。

(4) 患者負担金説明書の改訂 … 関移植調整部長

2026年1月から患者登録後に実施するHLA本人確認検査の検査会社と検査方法が変更となり、それに伴って検査料金も同時に改定されたため、患者負担金の説明書についても改訂を行った。本人確認検査として、HLA-A、B、DRB1の3座の検査を実施し、料金が1万6500円となるが、基本的には費用はJMDPが負担をする。再検査等の場合に限っては患者の負担となる。

(5) スワブトライアル3進捗 … 水口広報渉外部長

3月4日付の東京新聞夕刊に、2月14日鎌倉FMとのタイアップで実施した、本邦で初めての現地採取式のスワブドナー登録会の様子が記事となった。鎌倉市役所や鎌倉FM、鎌倉女子大学等々地元の協力を得て実施したもの。この知見を生かし、2月28日、3月1日の第48回日本造血・免疫細胞療法学会総会においても、スワブドナー登録会を実施した。東京新聞3月11日の夕刊において、学会でのイベントの様子を記事にしている。

現時点で4,600を超えるキットの申し込みと、2,400件を超える検体返送が確認されている。

受付終了の日程については、終了日1週間前までに関係各所に連絡をすることとなっており、現在見極めの段階にあるが、固まり次第、各所に報告させていただく。

以上